

法曹養成制度に関する検討ワーキングチーム（第3回）議事概要

1 日 時

平成22年4月5日（月）午後1時30分から午後2時40分まで

2 場 所

法務省第1会議室

3 出席者

加藤公一法務副大臣，鈴木寛文部科学副大臣，中村哲治法務大臣政務官，林眞琴法務省大臣官房人事課長，深山卓也法務省大臣官房司法法制部長，徳永保文部科学省高等教育局長，菅野雅之最高裁判所事務総局審議官，片岡弘東京地方検察庁総務部長，丸島俊介日本弁護士連合会囑託，井上正仁東京大学大学院法学政治学研究科教授，鎌田薫早稲田大学大学院法務研究科長（敬称略）

4 議事概要

- 新たな法曹養成制度（法科大学院・新司法試験・新司法修習）を経た弁護士6名（別添）に対するヒアリングを実施した。
- ヒアリング対象者から，法科大学院教育・新司法試験・新司法修習に対する感想，司法試験受験予備校の利用状況，就職活動の現状，法科大学院への多様な人材の受け入れ等に関する報告が行われた。
- その後，地方在住者の状況と法科大学院の配置の在り方，新司法試験の受験回数制限と合格率との関係，新司法試験の合格率に関する法科大学院在学当時の認識，旧司法試験の受験状況と法科大学院進学のも動機，法科大学院における基本的知識の修得と旧司法試験合格者との差異，法科大学院におけるいわゆる純粹未修者の教育の在り方，法科大学院生が自己の客観的な到達水準を認識する方法，新司法試験の合格率と法科大学院生間の互助意識との関係等について，質疑応答・意見交換が行われた。

以 上